

# 太平洋沿岸の津波浸水想定について

## ポイント

令和2年4月に日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルが公表されたことから、北海道防災会議地震火山対策部会地震専門委員会では、太平洋沿岸の津波浸水想定を設定するために同年4月、「津波浸水想定設定ワーキンググループ」を設置した。

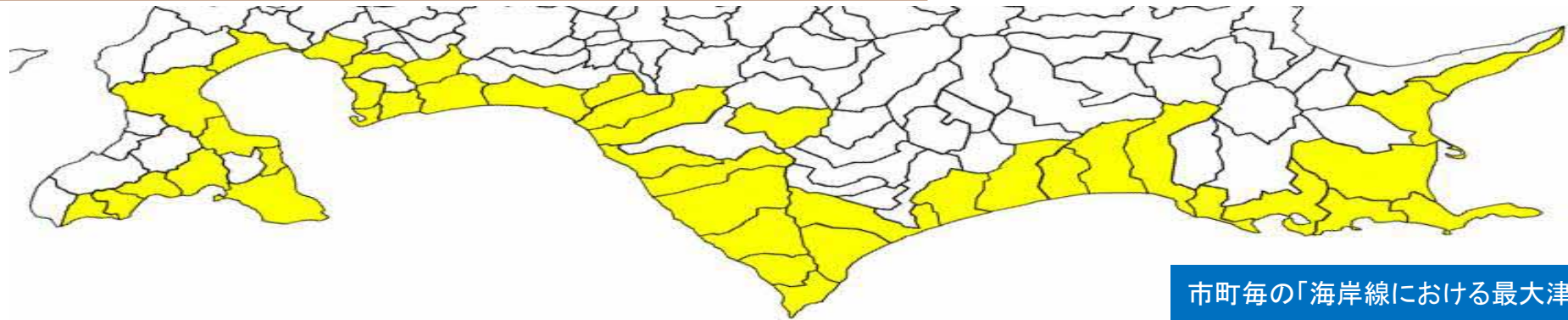
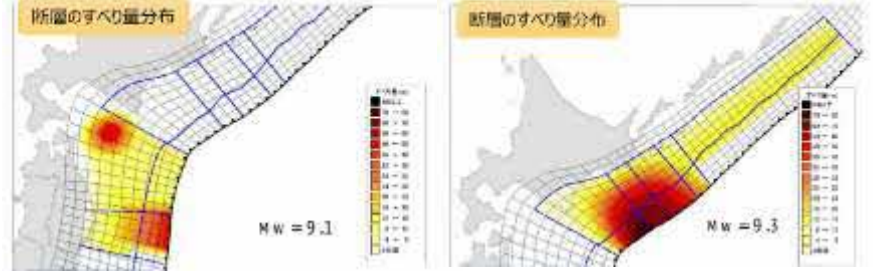
国が示した考え方を基本とし、最新の地形データを用い、詳細な条件設定下で算定した結果を基に、新たに津波浸水想定として取りまとめ令和3年7月に道防災会議地震火山対策部会地震専門委員会において承認され公表した。

津波浸水想定公表後、津波災害警戒区域の指定や津波ハザードマップ・避難計画の見直しなど総合的な津波防災対策を市町や防災関係機関と連携・協力のうえ進めている。

## 【国公表の最大クラスの津波断層モデル】

【①日本海溝（三陸・日高沖）モデル】

【②千島海溝（十勝・根室沖）モデル】



市町毎の「海岸線における最大津波高」

